

戦争体験記に寄せた思いを口々に語る

「発行のつどい」に48人



「続 私たちの戦争体験記」の発行を記念して、1月31日、中央公民館で「発行のつどい」を開きました。はじめに当時の「秋川の戦争を語りつぐ会」代表・永井美枝子さん(故人)が、1980年に作成した紙芝居をビデオ復刻した「五日市線空襲」が上映され、大きな拍手包まれました。続く懇談会では「軍国少年は教育によって形成された。正義の戦争はない」「この冊子で昔の同級生に

会えた。子どもの時は、素足で下駄を履いて雪の中で働かされた」「教師は、何も知らない子どもに人を殺すことや天皇は神と教え、軍隊にいくよう勧めた。今、先生への締め付けが強まり第二の国民学校のようになってきたようだ」「隣のオバチャンたちが焼け死んだのを見た。怖いというより生きるのに死に物狂いだっただ。子どももみんなが戦争に巻き込まれる」「私が行かなければ戦争に負けちゃうと本当に思って、母が止めるのも聞かず学徒動員の仕事に行きました」など体験記を寄せた18名が発言しました。参加者は「体験者の声を聞かせてもらってよかった」「平和を守ることの必要性を感じた」「こういう活動を続けてほしい」と感想を述べていました。体験記を多くの人に読んでいただきたいですね。

朝日新聞などに紹介される

「続 私たちの戦争体験記」は1月29日付の朝日新聞多摩版トップ記事で紹介されるなど、地元の「西の風」2/13付けや「西多摩新聞」2/6付けなどで取り上げられました。事務局にはこれまでに60本もの電話の問い合わせがあり、続編、前作、復刻版あわせて100部を超える注文がありました。

憲法ミュージカルは「ムツゴロウ」 今秋の公演日決まる

「ロラ・マシソン物語」の次は「ムツゴロウ・ラブソディ」に決定。西多摩公演は11月7日(土)昭島市民会館です。プレ企画として「憲法ミュージカルの魅力を語る」を6月13日に行います。オーディションは6月28日、練習開始は7月18日です。あなたもミュージカルに出演しませんか? 問合せは山下さん(電話 550-7574)。

大沢監督の劇映画「いのちの山河 ～日本の青空Ⅱ～」撮影進む

“豪雪・多病・貧困”と闘う旧沢内村の村長・深澤晟雄と村民を描く。キャストは長谷川初範、とよた真帆(写真)、加藤剛、大鶴義丹、宍戸開、小林綾子

らで撮影は順調に進んでいて、6月完成の予定です。



ご案内
講演会「あきる野市の財政」 心配です。どうしてこうなった!そしてどうすればいいのか?

3月29日(日) pm2~4 あきる野ルピア3階
講師: 大和田一紘氏(都留文科大講師)
資料代 300円 主催: 温泉問題を考える会
問合せは竹之内さん(電話 550-3787)

憲法九条守る賛同署名を勧めましょう

現在署名は888名です。この1年間の増加はわずかです。4月29日には4周年になりますが、この日までに1000名の大会に乗せたいと思います。署名カードを同封しますので皆様のご尽力をお願いします。

憲法をふみにじるソマリア沖派兵 新法で人体へ向けての射撃容認

政府は海賊対策のために海上警備行動で自衛隊の派兵を命令しました。「国民の生命と財産を守る」として海外派兵するのですから、日本が中国に軍隊を送った言い分と同じといってもいいでしょう。しかも、外国の船も護衛の対象とし、威嚇射撃のために人体に向けて発砲できるように新法・海賊対処法を作ろうとしています。武器使用について防衛省は歓迎をしています。NHKテレビでは呉基地周辺を警戒する警官の姿を写しましたが、まさに戦争前夜という感じでした。こうした九条無視、憲法蹂躪は許されません。

横田基地 炎上

1月20日夕方に発生した横田基地の火災は、13時間に亘って燃え続け3600平方メートルの建物を全焼しました。翌日には基地の汚濁水で市内の河川と池で魚が大量死しました。爆発物がなかったのが幸いでしたが、なんとも恐ろしい次第です。



★サポーターの皆様。定例会は毎月第2土曜日10:30～、市役所1階ロビーと決めてあります。次回は4月11日。定例開催日が決まっていますので、登録されているサポーター各位にご案内を差し上げていません。よろしくご参加をお願いします。なお、どなたでもサポーターになれます。

★封筒の寄贈ありがとうございました。小林富子さん(二宮)から約6000枚いただきました。

★会のホームページ、ブログをご覧ください
ホームページ(HP)は[あきる野9条の会](http://a9akiruno.net) で見られます。ブログにはここから入れます。会の連絡や報告はブログに掲載しています。HPアドレス(URL) <http://a9akiruno.net/>

A9ニュースでは、九条を守る皆様の意見や情報の投稿をお待ちしています。(事務局までお寄せください。メールアドレスは info@a9akiruno.net です)

あきる野9条の会

平和の尊と訴え

34人の戦争体験記

憲法9条の順守を訴える「あきる野9条の会」

は、一昨年10月にまとめた戦争体験記の続編「続私たちの戦争体験記」をこのほど発行した。同会の「戦争を語りつぐ会」の会員34人の体験記を集めたもので、戦争の恐ろしき、平和の尊さを訴えかける一冊となった。

空襲された五日市線に乗って、大牟田空襲の地獄絵、戦争がなければこんな事はなかった、「負けてしまおう…」と言ったために、だまされて飢えの極寒のシベリアへ、処刑された「青い目の人形」……など34話を収録。巻末に、先の体験記を読んだ都立五日市高校の生徒らによる感想文も掲載した。

戦争は大切な人の命を奪い、人生を狂わせる。本冊子では各人がそれぞれの体験をつづること、二度と戦争を繰り返してはならないというメッセージを発している。冊子はB5版53ページで450円。前編は350円。地元での綿密な調査結果を基にまとめた「秋川の戦争を語りつぐ総集編」は400円。



34人の体験記が詰まっている

いずれも9条の会で販売している。問い合わせは 7 前田さんへ。(寛)

もう、

お読みになりましたか？ 34人が綴る戦争体験

- 新作「続 私たちの戦争体験記」450円
- 前作「私たちの戦争体験記」350円。25人が寄稿。
※新作前作同時にお求めの場合は700円です。
- 復刻版「秋川市の戦争体験を語りつぐ総集編」400円
当時の「秋川の戦争を語りつぐ会」が1981～84年に発行した小冊子をまとめたもので、発行人の永井榮亮さん(玉泉寺住職)のご好意によるものです。

◆お求めは事務局員か事務局へ電話かメールで◆

↑「西の風」2月13日付け